

平成 25 年度

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

事業報告書

財務諸表等

公益財団法人 博報児童教育振興会

目 次

I	平成 25 年度 事業報告	1
II	処務の概況	4
III	財務諸表等	7
	(1) 平成 25 年度 貸借対照表	7
	(2) 平成 25 年度 正味財産増減計算書	8
	(3) 平成 25 年度 正味財産増減計算書内訳表	10
	(4) 平成 25 年度 財務諸表に対する注記	12
	(5) 平成 25 年度 付属明細書	14
	(6) 平成 25 年度 財産目録	15

I 平成 25 年度事業報告

事業の概要

1. 第 44 回「博報賞」(総事業費：141,101,328 円)

「博報賞」は児童・生徒の「豊かな人間性育成」に貢献・努力されている学校・団体・教育実践者を顕彰することを通して、児童教育の現場を活性化させ、支援することを目的とする。

(1) 推薦状況と受賞者数・副賞金

部 門	推薦数	受賞者数
国 語 ・ 日 本 語 教 育 部 門	11件	2件
特 別 支 援 教 育 部 門	9件	4件
日 本 文 化 理 解 教 育 部 門	10件	4件
国 際 文 化 理 解 教 育 部 門	18件	2件
教 育 活 性 化 部 門	41件	5件
合 計	89件	17件

各部門とも、受賞者に正賞(賞状)と副賞(100万円)を贈呈。
文部科学大臣奨励賞は、4件に授与。

(2) 実施内容

平成25年 4月 1日～ 6月28日	推薦受付
7月19日～ 8月 8日	審査委員会
9月30日	受賞者正式発表
11月 8日	贈呈式・記念祝賀会

(3) 第 11 回博報教育フォーラム

「博報教育フォーラム」は、博報賞受賞者の優れた教育実践を紹介し、ともに考えを深める場を提供することを通して、優れた教育実践が他の実践現場へ拡大・波及することを促進する。

日 時：平成26年2月22日 12：30～18：30

場 所：日本工業倶楽部

テ ー マ：「ちがっていること。ともに生きること。」

事例発表：福島県 三春町立三春小学校

沖縄県 NPO法人アメラジアンスクール・イン・オキナワ

東京都 手島利夫(江東区立八名川小学校 校長)

基調講演：柘植雅義 (国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員)

鹿毛雅治 (慶應義塾大学 教授)

パネルディスカッション・グループセッション：

コーディネーター 嶋野道弘(文教大学大学院教育学研究科長)

パネリスト 事例発表代表者3名、基調講演者2名

参加者数：139名。参加者には「フォーラムレポート」を送付。

2. 「児童教育実践についての研究助成」(総事業費：90,315,323 円)

新しい視点を持つ教育実践者・研究者の研究を助成し、研究成果を教育実践に反映させることを通して、児童教育の基盤を充実させることを目的とする。

(1) 応募状況と助成件数

	応募数	助成対象者数
第7回	62件	9件
第8回	83件	15件
第9回	100件	18件

(2) 実施内容

<第7回>

平成25年 5月 7日	成果報告提出
5月30日～ 6月30日	優秀賞審査
8月11日	成果発表会・優秀賞発表・贈呈
10月 1日	成果論文集発行

<第8回>

平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日	研究助成期間
-------------------------	--------

<第9回>

平成25年 7月 1日～10月31日	応募受付
11月18日～平成26年 1月13日	審査委員会
平成26年 2月20日	助成対象正式発表
3月14日	説明会

3. 「国際日本研究フェローシップ」(総事業費：109,793,404 円)

海外で日本語・日本語教育・日本文学・日本文化に関する研究を行っている優れた研究者を日本へ招聘し、滞在型研究の場を提供することで、世界における日本研究の基盤をより充実させ、研究者の活動を通じて、日本への理解を深めることを目的とする。

なお、第9回より事業名称を従来の「日本語海外研究者招聘」から「国際日本研究フェローシップ」に変更している。

(1) 応募状況と招聘者数

	応募数	招聘研究者数
第7回	34件	7件
第8回	28件	8件
第9回	58件	15件

(2) 実施内容

<第7回>

平成25年 8月28日	研究報告会（短期後期招聘・長期招聘）
9月30日	研究終了

<第8回>

平成25年10月 1日～平成26年9月30日	招聘研究期間
平成26年 3月13日	研究報告会（短期前期招聘・長期招聘）

<第9回>

平成25年 6月10日～10月31日	応募受付
平成26年 1月13日	審査委員会
3月 9日	招聘研究者正式発表

4. 「世界のこども日本語ネットワーク推進」（総事業費：119,931,458 円）

この事業では、日本語を大切にしながら、異文化体験や国際交流を通じて、日本の生徒と海外の生徒がお互いの理解を深め、国際人として成長する機会を提供することを目的に、「海外教師日本研修」「日本児童海外体験プログラム」および「海外児童日本体験プログラム」を展開している。

(1) 招待者数

第5回「海外教師日本研修」 海外13校（13カ国）から、日本語教師13名が参加

(2) 実施内容

<第5回>

平成25年 4月15日～ 5月15日	海外参加校募集
平成25年 6月24日	審査委員会
平成25年11月 6日～11月19日	「海外教師日本研修」実施

<第6回>

平成26年 2月17日～ 4月18日	応募受付
--------------------	------

II 処務の概況

(1) 構成（平成 26 年 3 月 31 日現在）

役員	理事 監事	11名(うち理事長1名、常務理事1名) 2名
評議員		12名
博報賞 審査委員		10名
児童教育実践についての研究助成 審査委員		5名
国際日本研究フェローシップ 審査委員		4名
世界のこども日本語ネットワーク推進 審査委員		4名
職員		13名

(2) 役員および審査委員の異動

職 名	氏 名	年 月 日	備 考
博報賞審査委員の就任（新任）	田村学	平成25年 4月 1日	
博報賞審査委員の就任（新任）	森山卓郎	平成25年 4月 1日	
児童教育実践についての研究助成 審査委員の就任（新任）	市川伸一	平成25年 4月 1日	
児童教育実践についての研究助成 審査委員の就任（新任）	本郷一夫	平成25年 4月 1日	
国際日本研究フェローシップ審査 委員の就任（新任）	井上優	平成25年 4月 1日	
国際日本研究フェローシップ審査 委員の就任（新任）	田中ゆかり	平成25年 4月 1日	
国際日本研究フェローシップ審査 委員の退任	近藤泰弘	平成26年 3月31日	辞任による
世界のこども日本語ネットワーク 推進審査委員の退任	久保田美子	平成26年 3月31日	辞任による

2. 役員会等に関する事項

(1) 理事会の開催

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成25年6月 6日	「平成24年度 事業報告（兼 職務執行報告）および決算の承認」の件 「日本語海外研究者招聘事業の名称等変更」の件 「第5回 定時評議員会の招集」の件 「株式会社博報堂DYホールディングスの株式の議決権行使」の件	可決 可決 可決 可決
平成25年6月24日 （決議省略方式）	理 事 長1名選定（候補者 成田純治）の件 常務理事1名選定（候補者 黒木文雄）の件	可決 可決
平成26年1月17日 （決議省略方式）	「指定正味財産の変更」の件 「基本財産の積立」の件	可決 可決
平成26年3月18日	平成25年度 事業経過報告 兼 職務執行報告 「基本財産の決定」の件 「平成26年度 事業計画書および収支予算書等」の件 「評議員会の招集」の件	報告 可決 可決 可決

(2) 評議員会の開催

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成25年6月24日	平成24年度 事業報告 「平成24年度 決算の承認」の件 「理事4名の選任（候補者 黒木文雄、但木敬一、成田純治、西原鈴子）」の件 「評議員会議事録の署名人の選任」の件	報告 可決 可決 可決
平成26年3月18日 （招集手続省略方式）	平成25年度 事業経過報告 「定款の変更」の件 「平成26年度 事業計画書および収支予算書等の承認」の件 「評議員会議事録の署名人の選任」の件	報告 可決 可決 可決

3. 内閣府への提出等に関する事項

提出年月日	提 出 事 項	処分・完了の年月日
平成25年 4月 3日	変更の届出 理事の就任 嶋野道弘、中浩正	平成25年 5月 8日
平成25年 6月28日	事業報告等の提出	平成25年11月26日
平成25年 7月 8日	変更の届出 理事（常勤）退任 大久保祐二 理事（常勤）就任 黒木文雄	平成25年 8月 9日
平成26年 3月28日	事業計画書等の提出	平成26年 4月21日
平成26年 3月28日	変更の届出 定款の変更	平成26年 3月31日

4. 文部科学省への提出等に関する事項

提出年月日	提 出 事 項	許 可 等
平成25年 9月30日	第44回「博報賞」贈呈式における文部科学大臣奨励賞の授与ならびに御祝辞のお願い	許可
平成25年10月28日	第11回「博報教育フォーラム」 文部科学省後援名義の使用許可申請について	許可
平成26年 1月24日	第45回「博報賞」贈呈式における文部科学大臣奨励賞賞状交付及び授与の申請について	許可

5. 監査に関する契約

項 目	内 容
締 結 日	平成25年7月3日
締 結 先	東陽監査法人
期 間	平成25年4月1日～平成26年3月31日

6. 寄付収入に関する事項

なし

Ⅲ 財 務 諸 表 等

貸 借 対 照 表

平成 26 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	210,869,663	207,758,731	3,110,932
前払金	4,637,389	5,187,823	△ 550,434
立替金	147,025	114,510	32,515
流動資産合計	215,654,077	213,061,064	2,593,013
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	51,015,852,000	50,804,035,950	211,816,050
普通預金	175,700,370	0	175,700,370
基本財産合計	51,191,552,370	50,804,035,950	387,516,420
(2) 特定資産			
特別事業基金	1,162,908,124	1,157,313,246	5,594,878
特定資産合計	1,162,908,124	1,157,313,246	5,594,878
(3) その他固定資産			
建物附属設備	15,119,365	14,358,453	760,912
什器備品	266,180	534,970	△ 268,790
敷金	40,826,196	40,826,196	0
その他固定資産合計	56,211,741	55,719,619	492,122
固定資産合計	52,410,672,235	52,017,068,815	393,603,420
資産合計	52,626,326,312	52,230,129,879	396,196,433
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,693,898	797,613	2,896,285
預り金	953,576	598,916	354,660
流動負債合計	4,647,474	1,396,529	3,250,945
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	4,647,474	1,396,529	3,250,945
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	129,864,731	129,864,731	0
受贈投資有価証券	38,088,000,000	358,500,000	37,729,500,000
配当金	175,700,370	0	175,700,370
指定正味財産合計	38,393,565,101	488,364,731	37,905,200,370
(うち基本財産への充当額)	(38,393,565,101)	(488,364,731)	(37,905,200,370)
2. 一般正味財産	14,228,113,737	51,740,368,619	△ 37,512,254,882
(うち基本財産への充当額)	(12,797,987,269)	(50,315,671,219)	(△ 37,517,683,950)
(うち特定資産への充当額)	(1,162,908,124)	(1,157,313,246)	(5,594,878)
正味財産合計	52,621,678,838	52,228,733,350	392,945,488
負債及び正味財産合計	52,626,326,312	52,230,129,879	396,196,433

正味財産増減計算書

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	530,893,130	530,080,125	813,005
基本財産受取利息	540,000	540,000	0
基本財産受取配当金	530,353,130	529,540,125	813,005
特定資産運用益	2,518,859	3,880,564	△ 1,361,705
特定資産受取利息	1,771,472	3,421,052	△ 1,649,580
特定資産受取配当金	747,387	459,512	287,875
雑収益	683,478	1,256,803	△ 573,325
受取利息	58,608	42,783	15,825
雑 収 益	624,870	1,214,020	△ 589,150
経常収益計	534,095,467	535,217,492	△ 1,122,025
(2) 経常費用			
事業費	461,141,513	404,870,546	56,270,967
顕彰・助成金	103,687,015	108,305,169	△ 4,618,154
博報賞事業副賞金	17,000,000	24,000,000	△ 7,000,000
研究助成事業助成金・優秀賞金	31,930,175	18,843,988	13,086,187
国際日本研究フェローシップ事業研究費	39,825,571	32,844,170	6,981,401
世界のこども日本語 NW 推進事業プログラム実施費	14,931,269	32,617,011	△ 17,685,742
顕彰・助成関係費	84,746,389	74,572,665	10,173,724
選考委員会運営費	11,788,389	10,700,833	1,087,556
式典費	10,926,170	9,298,731	1,627,439
招待費	3,121,288	4,362,830	△ 1,241,542
関連制作費	7,916,523	5,956,435	1,960,088
募集関連費	9,377,415	5,667,670	3,709,745
国際日本研究フェローシップ事業受入協力費	2,076,381	2,271,759	△ 195,378
世界のこども日本語 NW 推進事業視察費	3,594,798	4,191,879	△ 597,081
事業事務局運営費	35,945,425	32,122,528	3,822,897
事業推進・企画費	29,965,418	42,356,804	△ 12,391,386
博報賞教育フォーラム費	14,147,213	14,485,173	△ 337,960
世界のこども日本語 NW 推進事業総合企画費	6,969,080	17,236,968	△ 10,267,888
WEB ネットワーク管理費	8,849,125	10,634,663	△ 1,785,538
事業運営費	242,742,691	179,635,908	63,106,783
役員報酬	10,139,339	9,088,950	1,050,389
職員給与	67,087,696	54,618,954	12,468,742
法定福利費	9,307,594	6,999,602	2,307,992
臨時雇用者給与	97,308	476,421	△ 379,113
退職給付負担金	3,981,564	3,791,150	190,414
事務所費	32,761,440	28,595,569	4,165,871
減価償却費	754,005	825,378	△ 71,373
広報費	85,264,652	61,994,781	23,269,871
調査・開発費	12,866,382	3,302,759	9,563,623
旅費交通費	4,849,872	3,654,330	1,195,542
会議費	2,182,347	973,095	1,209,252
郵送・運搬費	2,972,214	3,993,170	△ 1,020,956
消耗備品・資料費	9,078,342	0	9,078,342
雑 費	1,399,936	1,321,749	78,187

管理費	72,953,954	87,904,082	△ 14,950,128
役員報酬	3,587,034	9,862,405	△ 6,275,371
職員給与	22,753,832	24,239,468	△ 1,485,636
法定福利費	3,424,323	3,872,839	△ 448,516
臨時雇用者給与	34,020	40,320	△ 6,300
退職給付負担金	1,416,611	2,320,070	△ 903,459
事務所費	12,839,420	16,367,660	△ 3,528,240
減価償却費	291,793	454,277	△ 162,484
広報費	8,399,024	13,212,706	△ 4,813,682
調査・開発費	743,908	0	743,908
旅費交通費	80,930	58,010	22,920
会議費	2,094,821	1,882,732	212,089
通信費	1,142,992	1,050,857	92,135
消耗備品・資料費	5,960,882	2,107,581	3,853,301
リース料	2,534,343	2,138,598	395,745
文書印刷費	1,363,236	1,286,968	76,268
その他管理費	6,286,785	9,009,591	△ 2,722,806
経常費用計	534,095,467	492,774,628	41,320,839
評価損益等調整前当期経常増減額	0	42,442,864	△ 42,442,864
基本財産評価損益等	53,116,050	13,810,753,950	△ 13,757,637,900
特定資産評価損益等	5,594,878	13,992,552	△ 8,397,674
評価損益等計	58,710,928	13,824,746,502	△ 13,766,035,574
当期経常増減額	58,710,928	13,867,189,366	△ 13,808,478,438
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除去損	165,810	0	165,810
什器備品除去損	165,810	0	165,810
経常外費用計	165,810	0	165,810
当期経常外増減額	△ 165,810	0	△ 165,810
当期一般正味財産増減額	58,545,118	13,867,189,366	△ 13,808,644,248
一般正味財産期首残高	51,740,368,619	37,873,179,253	13,867,189,366
一般正味財産期首残高振替額	△ 37,570,800,000	0	△ 37,570,800,000
一般正味財産期末残高	14,228,113,737	51,740,368,619	△ 37,512,254,882
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	529,000,000	0	529,000,000
基本財産受取配当金	529,000,000	0	529,000,000
基本財産評価益	158,700,000	98,500,000	60,200,000
基本財産評価益	158,700,000	98,500,000	60,200,000
一般正味財産への振替額	△ 353,299,630	0	△ 353,299,630
一般正味財産への振替額	△ 353,299,630	0	△ 353,299,630
当期指定正味財産増減額	334,400,370	98,500,000	235,900,370
指定正味財産期首残高	488,364,731	389,864,731	98,500,000
指定正味財産期首残高振替額	37,570,800,000	0	37,570,800,000
指定正味財産期末残高	38,393,565,101	488,364,731	37,905,200,370
III 正味財産期末残高	52,621,678,838	52,228,733,350	392,945,488

正味財産増減計算書内訳表

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	457,953,828	72,939,302	0	530,893,130
基本財産受取利息	405,000	135,000	0	540,000
基本財産受取配当金	457,548,828	72,804,302	0	530,353,130
特定資産運用益	2,518,859	0	0	2,518,859
特定資産受取利息	1,771,472	0	0	1,771,472
特定資産受取配当金	747,387	0	0	747,387
雑収益	668,826	14,652	0	683,478
受取利息	43,956	14,652	0	58,608
雑 収 益	624,870	0	0	624,870
経常収益計	461,141,513	72,953,954	0	534,095,467
(2) 経常費用				
事業費	461,141,513		0	461,141,513
顕彰・助成金	103,687,015		0	103,687,015
博報賞事業副賞金	17,000,000		0	17,000,000
研究助成事業助成金・優秀賞金	31,930,175		0	31,930,175
国際日本研究フェローシップ事業研究費	39,825,571		0	39,825,571
世界のこども日本語NW推進事業プログラム実施費	14,931,269		0	14,931,269
顕彰・助成関係費	84,746,389		0	84,746,389
選考委員会運営費	11,788,389		0	11,788,389
式典費	10,926,170		0	10,926,170
招待費	3,121,288		0	3,121,288
関連制作費	7,916,523		0	7,916,523
募集関連費	9,377,415		0	9,377,415
国際日本研究フェローシップ事業受入協力費	2,076,381		0	2,076,381
世界のこども日本語NW推進事業視察費	3,594,798		0	3,594,798
事業事務局運営費	35,945,425		0	35,945,425
事業推進・企画費	29,965,418		0	29,965,418
博報賞教育フォーラム費	14,147,213		0	14,147,213
世界のこども日本語NW推進事業総合企画費	6,969,080		0	6,969,080
WEB ネットワーク管理費	8,849,125		0	8,849,125
事業運営費	242,742,691		0	242,742,691
役員報酬	10,139,339		0	10,139,339
職員給与	67,087,696		0	67,087,696
法定福利費	9,307,594		0	9,307,594
臨時雇用者給与	97,308		0	97,308
退職給付負担金	3,981,564		0	3,981,564
事務所費	32,761,440		0	32,761,440
減価償却費	754,005		0	754,005
広報費	85,264,652		0	85,264,652
調査・開発費	12,866,382		0	12,866,382
旅費交通費	4,849,872		0	4,849,872
会議費	2,182,347		0	2,182,347
郵送・運搬費	2,972,214		0	2,972,214
消耗備品・資料費	9,078,342		0	9,078,342
雑 費	1,399,936		0	1,399,936

管理費		72,953,954	0	72,953,954
役員報酬		3,587,034	0	3,587,034
職員給与		22,753,832	0	22,753,832
法定福利費		3,424,323	0	3,424,323
臨時雇用者給与		34,020	0	34,020
退職給付負担金		1,416,611	0	1,416,611
事務所費		12,839,420	0	12,839,420
減価償却費		291,793	0	291,793
広報費		8,399,024	0	8,399,024
調査・開発費		743,908	0	743,908
旅費交通費		80,930	0	80,930
会議費		2,094,821	0	2,094,821
通信費		1,142,992	0	1,142,992
消耗備品・資料費		5,960,882	0	5,960,882
リース料		2,534,343	0	2,534,343
文書印刷費		1,363,236	0	1,363,236
その他管理費		6,286,785	0	6,286,785
経常費用計	461,141,513	72,953,954	0	534,095,467
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0
基本財産評価損益等	39,837,038	13,279,012	0	53,116,050
特定資産評価損益等	5,594,878	0	0	5,594,878
評価損益等計	45,431,916	13,279,012	0	58,710,928
当期経常増減額	45,431,916	13,279,012	0	58,710,928
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
固定資産除去損	97,828	67,982	0	165,810
什器備品除去損	97,828	67,982	0	165,810
経常外費用計	97,828	67,982	0	165,810
当期経常外増減額	△ 97,828	△ 67,982	0	△ 165,810
当期一般正味財産増減額	45,334,088	13,211,030	0	58,545,118
一般正味財産期首残高				51,740,368,619
一般正味財産期首残高振替額				△ 37,570,800,000
一般正味財産期末残高				14,228,113,737
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	396,750,000	132,250,000	0	529,000,000
基本財産受取配当金	396,750,000	132,250,000	0	529,000,000
基本財産評価益	119,025,000	39,675,000	0	158,700,000
基本財産評価益	119,025,000	39,675,000	0	158,700,000
一般正味財産への振替額	△ 324,758,703	△ 28,540,927	0	△ 353,299,630
一般正味財産への振替額	△ 324,758,703	△ 28,540,927	0	△ 353,299,630
当期指定正味財産増減額	191,016,297	143,384,073	0	334,400,370
指定正味財産期首残高				488,364,731
指定正味財産期首残高振替額				37,570,800,000
指定正味財産期末残高				38,393,565,101
Ⅲ 正味財産期末残高				52,621,678,838

(注) 1. 貸借対照表内訳表を作成していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高及び正味財産期末残高は合計欄のみを記載している。

財務諸表に対する注記

「公益法人会計基準」(平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用しております。

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しておりません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……購入時の取得価額によっております。なお、償却原価法については重要性に乏しいため、適用しておりません。

その他有価証券

時価のあるもの………決算時の市場価格等に基づく時価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物附属設備及び什器備品………定額法によっております。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込み方式によっております。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	50,804,035,950	211,816,050	0	51,015,852,000
普通預金	0	175,700,370	0	175,700,370
小 計	50,804,035,950	387,516,420	0	51,191,552,370
特定資産				
特別事業基金	1,157,313,246	5,594,878	0	1,162,908,124
小 計	1,157,313,246	5,594,878	0	1,162,908,124
合 計	51,961,349,196	393,111,298	0	52,354,460,494

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	51,015,852,000	(38,217,864,731)	(12,797,987,269)	—
普通預金	175,700,370	(175,700,370)	—	—
小 計	51,191,552,370	(38,393,565,101)	(12,797,987,269)	—
特定資産				
特別事業基金	1,162,908,124	—	(1,162,908,124)	—
小 計	1,162,908,124	—	(1,162,908,124)	—
合 計	52,354,460,494	(38,393,565,101)	(13,960,895,393)	—

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物 附 属 設 備	20,431,635	5,312,270	15,119,365
什 器 備 品	2,194,150	1,927,970	266,180
合 計	22,625,785	7,240,240	15,385,545

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債	280,000,000	281,046,000	1,046,000
合 計	280,000,000	281,046,000	1,046,000

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
経常費用計上による振替額	353,299,630
合 計	353,299,630

8. その他

基本財産のうち、平成 24 年度期末残高において、一般正味財産に対応するものとされていた 5,240 万株 (37,570,800,000 円) について、指定正味財産に対応するものとして取り扱うこととすべき事実関係が確認されたので、平成 25 年度期首残高において振替修正しております。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しております。

2. 引当金の明細

該当する事項はございません。

財 産 目 録

平成 26 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	1,374,473
	預金	普通預金	運転資金として	209,495,190
		みずほ信託銀行本店		2,722,602
		みずほ銀行九段支店		1,140,303
		三菱東京 UFJ 銀行神保町支店		199,966,779
		三井住友銀行神田支店		5,665,506
	前払金	森トラスト(株)他	事務所 4 月分賃料、未使用リジナル図書カード 他	4,637,389
	立替金		25 年度概算雇用保険料直庸職員負担分立替	147,025
流動資産合計				215,654,077
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券		75%が公益目的保有財産である	51,015,852,000
		株式・博報堂 DY ホルディングス		50,835,852,000
		国債		180,000,000
特定資産	普通預金	普通預金・三菱東京 UFJ 銀行神保町支店	71,991,297 円が公益目的保有財産である	175,700,370
	特別事業基金		公益目的保有財産である	1,162,908,124
		定期預金・三菱東京 UFJ 銀行神保町支店		797,513,000
		定期預金・三井住友銀行神田支店		220,000,000
		株式・ブリヂストン		40,212,420
		株式・三菱 UFJ ファイナンシャル・グループ		3,742,200
		株式・旭化成		1,440,504
		国債		100,000,000
その他固定資産	建物附属設備	港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 8 階 上記建物附属工事等一式	59%が公益目的保有財産である	15,119,365
	什器備品	ラック、パソコン、テレビ 他	59%が公益目的保有財産である	266,180
	敷金	港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 8 階	59%が公益目的保有財産である	40,826,196
固定資産合計				52,410,672,235
資産合計				52,626,326,312
(流動負債)				
	未払金	(株) CAMP、プロジエクト・ブレン(株)他	事業事務局運営費、直庸職員の社会保険料他	3,693,898
	預り金			953,576
		住民税	直庸職員の住民税	545,200
		社会保険料	直庸職員の健康保険料・厚生年金保険料	219,580
		雇用保険料	直庸職員の雇用保険料	188,796
流動負債合計				4,647,474
固定負債合計				0
負債合計				4,647,474
正味財産				52,621,678,838

監 査 報 告 書

平成 26 年 5 月 29 日

公益財団法人 博報児童教育振興会
理 事 長 成田 純治 殿

公益財団法人 博報児童教育振興会

監 事 涌井 洋治

公益財団法人 博報児童教育振興会

監 事 宮地 彰

私たち監事は、平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法およびその内容

各監事は、理事および使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事および使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）およびその付属明細書ならびに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令および定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類およびその付属明細書ならびに財産目録の監査結果

計算書類およびその付属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上

以上の通り報告いたします。

平成 26 年 6 月 9 日

公益財団法人	博報児童教育振興会
理 事 長	成 田 純 治